



充実した古志幼稚園での3年間

古志幼稚園愛育会長 藤原静香

寒さの中にも、ほんのり春の気配を感じる頃となり、長女が卒業しました。

最初、和太鼓ができる幼稚園と知り古志幼稚園に決めました。入園したての頃は親子共々慣れない生活で不安でしたが、先生方や他の保護者の方々に支えられ徐々に慣れることができました。



子どもも「砂場で神戸川作ったよ」「土手滑りが楽しかったよ」「梨園行っちゃったよ」と、楽しく過ごしたようで嬉しく思いました。ゆうづらザへみんなで行くことやそば打ち体験もなかなか経験できないのでとても良かったです。

年中の後半頃から神戸川太鼓を練習し始めて、大丈夫かな？と心配になりましたが、少ない練習時間にも関わらず行事の披露では大きな声で力強く太鼓を叩く姿に成長したなと感動しました。自信が付き、あらゆることに挑戦する姿も古志幼稚園に入園できたおかげです。

今年度は古志幼稚園60周年記念式典も執り行えて特別な年でした。地域の皆様方には古志幼稚園での様々な行事にご指導ご参加いただき心より感謝申し上げます。子どもたちの心の中で地域の皆様方との日々は忘れられない思い出と経験になりました。ありがとうございました。

中学校の思い出

大野 寧



わたしはこの春、出雲市立第二中学校を卒業しました。

神戸川小学校から二中に入學する時には、小学校が同じだった人が極わずかでした。不安なことも沢山ありましたが、二中に入學して新しい友達が沢山でき、3年間で楽しい思い出をつくることができました。

私達の時からコロナの規制が緩くなり、修学旅行では関西方面に行くことができました。また、体育祭・文化祭では規制もなく色々なことに挑戦できました。文化祭の合唱コンクールではクラス伴奏者を務めました。そこで周りの友達にサポートしてもらい、友だちとの絆をより深めることができました。

この春から高校に入學します。今の友達と離れ離れになることはとても寂しいですが、自分の夢に向かって全力で頑張りたいと思います！

ほくと体操

高橋知磨



6年間通った小学校を卒業しました。

ほくは1年生のときから体操が続けています。体操はとても楽しいですが、難しい技に挑戦することも多くなり大変さも感じています。

小学6年生では、U-12の全国大会に出場することができました。全国でのまい選手たちと一緒に演技することで自分の力はまだまだだと感じました。でもそのぶん「もっとうまくない！」「という気持ちが大きくなりました。



中学生での目標は全国中学校大会（全中）に出場することです。鉄棒の下り技フライングサルトルや床での一回宙返りに挑戦しています。体操はむずかしいけれど、だからこそ技が成功した時のうれしさも大きいです。

これまで教えてくれた家族や先生仲間や地域の方々に「ありがとう」の気持ちをわすれずに、中学校でももっと成長できるように全力でがんばります！

うどん作り

コミュニティセンター総務部と社会福祉協議会高齢者部との共催で、2月8日(土)、「うどん作り」を開催しました。参加者は10人で、講師の山根勉さんと山根里司さんにご指導をいただき、500gの手打ちうどんに挑戦しました。

初めに講師より手順のポイントを聞き作業をスタート。うどん粉に塩水を混ぜてこねる・ビニール袋に入れて足で踏む・30分寝かせて麺棒で伸ばす。目標の生地の厚さは3ミリで形は四角形、均等に伸ばすには力の入れ方が難しい作業でした。そして、屏風たたみにした生地をそば包丁で切ると手打ちうどんの完成です。

試食では、麺のコシの強さとツルツルとした食感を楽しみ、手作りだからこそ得られる美味しさに皆さん大満足でした。今回久しぶりのうどん作りでしたが、和気あいあいとした雰囲気の中、参加者同士が教え合うなど協力し、交流を深める機会にもなりました。



42会を迎えて 井上 加藤 晃

去年の春先、前年度42会幹事様より引継ぎを受け、石橋達也(新宇賀)、横木真(町東)、加藤晃(井上)の3人の幹事でスタートを切りました。

私たちはこれまで、古志地区として同窓会を行った事が無く、同級生たちがどこで、どのような生活をしているのかも分からなく、会の段取りも未経験で不安だらけでした。幸い、私達の卒業アルバムには当時の住所や電話番号の記載があり、それをもとに連絡を取ることができました。現在は個人情報厳正に管理されていますので簡単に連絡を取るのは難しいと思います。

秋の古志文化祭では42会として例年に沿って「お餅配り、お菓子配り」をしました。当日は地域の皆様方から労いのお言葉をたくさん頂き、古志地区の「絆」「繋がり」を肌で感じる事ができました。皆様の優しく温かいサポートにより無事に行事を終えることができたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

なお、今年1月2日に行った神門地区との同窓会では、ともに幼き日々を過ごした仲間たち、小学校を卒業するまでお力添えをいただいた恩師の先生方と親密な時間を過ごすことができ私の一生の宝物となりました。今後の私たちを支えてくれる大きな力になるでしょう。

最後になりますが、この度の42会事業にご協力いただいた地域の皆様方、古志コミュニティセンターのスタッフの皆様方、諸先輩方に感謝を申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。



「令和7年春季火災予防運動」

令和7年3月1日(土)～3月7日(金)



設置は義務です

「住宅火災警報器」で助かる命があります!

住宅用火災警報器は、火災発生を早期に知らせ、迅速な避難を可能にします。

設置と点検を行い「まさか」に備えましょう。



広報「古志」から改称し、広報「さくら」として歩みだしたのが、平成四年一月のことです。この三月で四〇〇号という節目にあたり、これまで紙面に原稿をお寄せいただいた多くの皆さまに、心より感謝申し上げます。また、二〇〇号を記念してから編集後記を「ひとと抄」と名付けました。古志の郷の山川、田畑、人々の営み、そして身近な生き物などを心に留め、ひとひらの思いを小欄に載せてきました。これまでも、四季の彩りと共に、言葉を紡いでいけたらと思います。

(悦)



ひとひら抄

御寄贈御礼(R7.2.11~R7.3.10)

お志は、地区の事業に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

【金一封】

令和6年度古志42会様からコミュニティセンターに金一封の贈呈がありました。

【香典返し】

野々村学様(夕陽ヶ丘北)
原 健治様(町東)



行事予定 4月

9日(水) 健康はつらつ教室

10日(木) 文書配布日

13日(日) 出雲市長、市議会議員選挙

24日(木) 文書配布日

27日(日) 神戸川一斉清掃